

「市立保育園配置計画の

進捗等について」

新潟市 こども未来部保育課長

浅間 孝之



新潟市私立保育園協会の皆さま、新潟市こども未来部保育課長の浅間孝之です。皆さまには日頃より責任と誇りをもって本市児童の健やかなる成長にご尽力いただいておりますことに加え、新型コロナウイルス感染症から園児、職員を守るためにご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

本市は現在、平成三十年度に策定した市立保育園配置計画に基づきまして、市立保育園の統廃合を進めています。これは、施

設の老朽化をはじめ市立保育園が抱える喫緊の課題に対応するために、これまで以上に民間の皆さまのお力をお借りしながら、限りある財源を有効活用することで、将来にわたって子どもたちに充実した保育サービスを提供することを目的とするものです。

現在までの進捗状況は、昨年度までに予定を含め五園(宮浦乳児、曾野木、第二曾野木、新金沢、古川)の閉園を決定し、今年度は二園(石山、敷島)の調整を進めています。今後も計画で早急に対応すべき施設に位置付けられている園を中心に、毎年複数園の閉園調整を継続的に進める予定です。保育ニーズの高い地域においては、近隣に私立園を誘致し閉園につなげていく手法を、保育ニーズが減少している地域においては、既存の私立園に児童を誘導しながら閉園につなげていく手法など、地域によって最良の手法を選択しながら進めていきますので、皆さま方には、近隣の市立保育園が閉園



対象となった場合には、児童の受け入れについて調整のご配慮をお願いいたします。

また、計画では今後の市立保育園が担うべき役割を果たすために、研修など市全体の保育水準の向上に向けた取り組みを強化し、関係機関との連携や人材育成の拠点たる機能を有する「基幹保育園」を設置することとしており、今年度中に公表できるように、強化すべき機能の検討と合わせ施設の選定作業を進めています。市全体の保育サービスの充実のために市立保育園配置計画を推進してまいりますので、私立保育園協会の皆さまのご理解・ご協力を重ねてお願いいたします。

